

きらり★通信

相楽東部広域連立立笠置小学校
学力充実部 No. 2
令和4年7月20日

このおたよりは、本校の学力向上のための取組や子どもたちの学びの様子をお知らせするものです。

～はぐくみたい力～

- ☆主体的に学び考える力・・・自分の力で考え、主体的に行動する力
- ☆多様な人とつながる力・・・多様な人とつながり支え合いながら、共生できる力
- ☆新たな価値を生み出す力・・・新たな価値を生み出し、自分らしく生きる力



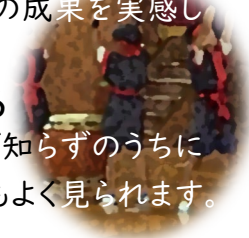
太鼓発表会、エンジョイ・ミュージックの取組

異年齢活動と
行事にむけて

笠置小学校では、毎年、太鼓学習(伝統文化に係る取組)とエンジョイ・ミュージック(音楽を楽しむ全員参加型行事)を実施しています。今年度も太鼓発表会を7月5日に、エンジョイ・ミュージックを8日に行いました。

◇太鼓学習の特徴

- ◇ 低・中・高の学年ブロックで練習・発表するため、上の学年が下の学年の指導を行う
「協調性」「自制心」「コミュニケーション能力」の育成:異年齢集団では、協力することが成功の鍵になります。また、教えることを通して、うまく伝える方法を試行錯誤しながら実践します。
- ◇ 発表会というゴールに向けて、それぞれの児童が継続的に練習を行う
「粘り強さ」「計画性」「意欲」の育成:太鼓のリズムや体の動きを覚えるためにはある一定の練習が必要になります。あきらめずに続けることで、手にまめがでるほどに練習し、その成果を実感します。
- ◇ 発表会では、他学年の演奏を鑑賞することで、次年度の自分の姿を想像する
「対応力」「主体性」の育成:発表後、子どもたちは次年度に取り組む曲を知らず知らずのうちに口ずさみ、まねをしています。また、「来年は自分たちが教える番」と口にする様子もよく見られます。



◇エンジョイ・ミュージックの特徴

- ◇ 音楽に関するパフォーマンスなら何でもOK。思い思いの発表を児童が考える
「創造性」「問題解決力」の育成:例年のイメージから発表内容を考える子どももいますが、新たな取り組みを行う子どもの姿もあります。また、昨年度の模倣であったとしても、自分の経験や能力に合ったパフォーマンスをそれぞれで考えるため、そこに学びがあります。
- ◇ 学年の垣根を越えてチームを組み、練習をして本番に臨む
「意欲」「忍耐力」「対応力」の育成:本番に向けて、各チームが自主的に休み時間を使って練習をします。時にはうまくいかないときもありますが、そこから学び、本番につなげていきます。
- ◇ 本番当日は、各チームの発表を鑑賞し、思いっきり楽しむ
「自己肯定感」「集中力」「回復力」の育成:本番では、楽しむことが1番大切です。緊張もしますが、自分のパフォーマンスに集中し、他者の発表には笑いを楽しみます。失敗しても楽しかったという印象で行事を終えることで、経験を前向きに捉えられるようになります。



2学期には、『運動会』『笠置小フェスタ(ふるさと学習発表会)』『参加型演劇鑑賞』などの行事があります。子どもたちの取組を見守っていただき、ご家庭での「がんばったね」や「○○がすごくよかったね」といった言葉かけと、いっしょに「ふり返る」時間が子どもたちの次につながります。